

歴史と自然、人とひとがつながるまち 平野

twitterやっています!!
大阪市 平野区役所 @hirachan_tweet

◆人口…198,850人(男:94,460人 女:104,390人)
◆世帯数…87,337世帯 平成24年7月1日現在

平野区広報紙「広報ひらの」平成24年8月号
編集・発行／平野区役所総務課(総合企画)
〒547-8580 大阪市平野区背戸口3-8-19
☎4302-9683 ☎6700-0190
<http://www.city.osaka.lg.jp/hirano/>



August
8月号
No.195

新たな平野区をめざして

8月以降、あらためて平野区長として就任させていただくことになりました 藤井清美 です。

先般、発表されました市政改革プラン(案)にもありますとおり、大阪市は今後、地域ごとに多様化するニーズにきめ細かく対応していくために、「市一律」から「区単位、さらには小学校下レベルといった身近な単位」へと視点を移し、その地域の特性に合った施策の展開や、住民の皆様自らによる地域づくりの取り組みを支援していく方向へと大きく転換を図ることとしています。

また、大阪市の行政においても住民の皆様により身近な区長・区役所の権限を拡充し、区長・区役所が中心となってまちづくりを進めていく方向へ転換を図ります。

このため、これからは区長・区役所の役割が大きく変わります。新しい時代を迎え、新たな区役所を自分たちの力でつくっていくこと、また、地域の皆様とともに新たな平野区のまちづくりに取り組めることに大きなやりがいを感じるとともに、その責任を痛感しています。

今まで区民の皆様のご協力のもと進めてまいりました防犯防災の取り組みはもとより、今後はこれからの平野区を担う子どもや若者達を健やかに育むこと、また、若い世代にも愛着を持ってもらえるような地域環境づくりに力を注いで参りたいと思います。

改革が急ピッチで進み、かつ財政状況も厳しい中、区民の皆様には厳しい選択をお願いする場面もあろうかと思いますが、「地域の課題の答えは地域の中にこそある」ことを胸に刻み、区民の皆様の声に耳を傾け、また、ご理解を得るよう最大限の努力をしながら職務に取り組みたいです。

次の世代につなげていく安全で安心な、そして区民の誇りとなる明日の平野区をつくるよう、区民の皆様方とともに区役所職員一丸となり、前を向いて取り組んでまいりますので、あらためてご理解ご協力のほどお願い申し上げます。



平野区長 藤井 清美

区民の意見が反映される区政をめざして

6月25日 平野区区政会議委員長 石田 易司氏と
藤井平野区長が対談しました

テーマ 区民の声を区政に反映するための効果的な仕組みについて

藤井区長

これまでの区役所は、区民の方の声を聴いて局へ伝えるだけの役割で、決定者ではなく、判断する部分は非常に小さかったです。これからは区長の役割も変わり、区役所が区民の声を聴く方法を変えさせてほしいと思います。これから大切なのは、区民の方の声です。私の中に答えがあるのではなく、地域の中に答えがあります。区民の方々の生の声を聴かないといけないなあと思う。ただ、難しいのは、地域には必ず違う意見をお持ちの方もおられるので、やっぱり折衷案なども検討するシステムをこれから作る必要があります。

石田委員長

日常的に区民の声を聴くような、例えば「プラットフォーム」というような「場」がとても大事で、日常的に区民の様々な意見を聞ける場が区役所の中にあるというのが必要であると思います。そんな意味で、区政会議みたいなものが地域ごとにあって、地域の中で意見を言っているような場を作っていただくことも大事ですし、その地域ごとの場を区単位で1つに集めていく場も大事でしょう。そういうものと今の区政会議をやっぱり継続していこうと思っておられますか。

藤井区長

はい。区政会議のような場でこれからもご意見を聴いていくと思いますが、もう少し発展して、お互い議論していただいて、方向性を見出していだけるような会議にもっていかないといけないと思います。そういう意味ではやり方とかを含めて見直す必要がありますが、そういう場はおっしゃるとおり必要だと思います。

ダイジェスト版

PART I



テーマ 平野区区政会議の委員長に携わっていただいていた感じられたこと

石田委員長

区政会議も、今まで平野区に住んで仕事をしておられた方、あるいは仕事を辞めてずっと平野区におられる方が中心になって、昼間は都心に出ているけれども夜だけ平野区にいる人など、若い人は区政会議のメンバーにもなっていないし、そのあたりの難しさがあります。

藤井区長

区政会議は、公募を多くして、実は、比較的若い方にも入っていただくようにしました。メンバーには、平野区に住んでいないが平野区でNPOとして活動されている方や若い方で平野区ベースでお仕事をされている方もおられました。そういった意味では、若い人たちの声も聞けてよかったと思います。これからはもっと、例えば若い人たちの集まりとか、その人達の声も聴くシステムを当然つくっていかなければいけません。地域に興味がないという方もおられるので、そこをどうするかが難しいところでは。

9月以降の広報紙でも、対談内容を紹介します。また、今回の対談の詳細は、平野区ホームページに掲載していますので、そちらもご覧ください。
<http://www.city.osaka.lg.jp/hirano/>